

新収蔵品展

New Acquisitions

2010（平成22）年度、北海道立近代美術館では14作家、29点の作品と30点の資料作品を新たに収蔵しました。これらはすべて作家のご遺族や関係者などからのご寄贈によるものです。

地域別には、北海道ゆかりの作家が大半を占めます。本道で日本画の礎を築いた山内弥一郎（1885～1954年）、北海道美術史に足跡を記した今田敬一（1896～1981年）、大正から昭和に活動した大塚謙三（1901～36年）、水彩の分野で着実な歩みをみせる志賀迪（1929年～）、大胆でモダンな木彫を生みだした砂澤ビッキ（1931～89年）、制作、評論、教育と多方面で活躍した木路毛五郎（1936～2003年）、戦後北海道の具象絵画を代表する岸本裕躬（1937～2011年）、金属や廃材

を用いた造形で知られる橋原武正（1942年～）、時をテーマに制作活動続ける中江紀洋（1943年～）、道東を拠点にガラス彫刻を制作する嶋崎誠（1954年～）があげられます。あわせて、独創的な版画作品で知られた一原有徳（1910～2010年）による版画原版も資料作品として収蔵されました。

また道外では、日本近代を代表する水彩画家の中西利雄（1900～48年）、フランスで画家として活躍し、同地を終の住処とした藤田嗣治（1886～1968年）、そしてその藤田とも深い交友をもったエコール・ド・パリの画家アメデオ・モディリアーニ（1884～1920年）の作品も忘れることができません。

本展では、こうした新収蔵品のなかから一部をご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	山内弥一郎	農夫	1923(大正12)頃	絹本彩色
2	山内弥一郎	四季の花	1937(昭和12)頃	紙本彩色・折帖
3	今田 敬一	敬子像	1930(昭和5)頃	油彩・板
4	今田 敬一	少女	1939(昭和14)頃	油彩・キャンバス
5	今田 敬一	昔の先生(能勢真美像)	1963(昭和38)	墨・紙
6	大塚 謙三	下田港雨情	1933(昭和8)	油彩・板
7	砂澤ビッキ	無題	1985(昭和60)	アクリル絵具・インク・紙
8	砂澤ビッキ	無題	1983(昭和58)	アクリル絵具・紙
9	一原 有徳	放 原版	1976(昭和51)	アルミニウム版腐蝕
10	一原 有徳	放	1976(昭和51)	アルミニウム版腐蝕・紙
11	一原 有徳	An(A)4 原版	1995(平成7)	アルミニウム版腐蝕
12	一原 有徳	An(A)4	1995(平成7)	アルミニウム版腐蝕・紙
13	中江 紀洋	地殻交信機	1976(昭和51)	木(サクラ・カツラ)
14	橋原 武正	作品83	1983(昭和58)	ミクストメディア
15	木路毛五郎	白い妖精	2001(平成13)	アクリル絵具・キャンバス
16	岸本 裕躬	美幌福住原生林	2006(平成18)	油彩・キャンバス
17	嶋崎 誠	心円	2007(平成19)	ガラス
18	アメデオ・モディリアーニ	フジタの肖像	1919	鉛筆・紙
19	中西 利雄	白い服の女	1940(昭和15)頃	水彩・紙
20	中西 利雄	教会の見える風景	1930(昭和5)	水彩・紙
21	志賀 迪	寂	1998(平成10)	水彩・紙
22	藤田 嗣治 (レオナルド・フジタ)	「平和の聖母礼拝堂」 完成記念のためのリトグラフ	1966(昭和41)	リトグラフ・紙
23	藤田 嗣治 (レオナルド・フジタ)	「平和の聖母礼拝堂」 ステンドグラス：聖チェチリア	再制作2008(平成20)／ オリジナル1966(昭和41)	ガラス・鉛

*no.10、12を除き、すべて平成22年度新収蔵作品。

*no.18は4月16日～26日、no.19は4月27日～5月22日の間、展示します。